

特殊詐欺発生状況 ▶ 令和5年1月～12月の状況

12月中	件数	金額	1～12月	件数	金額
R5年	14	約1億980万円	R5年	182	約6億780万円
R4年	18	約3,310万円	R4年	159	約3億1,640万円
増減	-4	約+7,670万円	増減	+23	約+2億9,140万円

※金額欄は端数を四捨五入しており、金額の増減と一致しない場合があります。

手口ピックアップ!

LINEグループに招待される投資名目の金融商品詐欺!

SNSアプリ「LINE」のグループトークに招待されるところから始まる投資名目の金融商品詐欺を認知しています。

手口の一例

突然、SNSアプリ「LINE」で知らないアカウントからグループトークに招待され、「投資で儲かった。」などの投資に興味を持つようなトークを見せつけられる。

グループトークの中に指導者の立場の者がおり、興味本位で連絡を取ると、投資を勧められる。

FXや為替商品などを取引する「投資アプリ」をインストールするように言われたり、口座を開くように指示され、運用資金として金銭の振り込みをさせられる。

投資アプリ上では利益が出ているように表示されるが、振り込んだ運用資金や利益を引き出そうとすると引き出しを拒否したり、追加料金を請求されるなどして引き出しができず、金銭をだまし取られる。

対策!

- ① LINEの設定で「友だちへの追加を許可」をオフにして、グループ追加を防ぐなどLINEの設定を見直すほか、身に覚えのないグループに登録された場合は、すぐに退会の手続きをする!
- ② 投資グループや投資の広告の誘いに乗らない!
- ③ 一人で判断せず、家族、警察等に相談する!

トピックス

12月中、みずほ銀行倉敷支店では、来店客が口座を開けようとしたことから行員が開け理由を聞いたところ、来店客がメールを見せながら「高額当選金を受け取るために口座が必要。」などと答えたことから詐欺と見破り、架空料金請求詐欺を未然に防止しました。

また、ローソン赤磐吉井店、セブンイレブン東岡山店、ファミリーマート高松稲荷店では、電子マネーカードを購入しようとした来店客に店員が購入理由を聞いて詐欺と見抜き、警察に通報するなどして架空料金請求詐欺被害を未然に防止しました。

このほかにも、コンビニエンスストアなどで合計14件の特殊詐欺被害を未然に防止することができました。

ココに「技あり」!

みずほ銀行倉敷支店の事例は、行員さんが高額当選金名目の架空料金請求詐欺の手口を知っていたからこそ詐欺と気が付けたもので、また、各コンビニエンスストアの方は来店客が電子マネーカードを購入する際にしっかりと声を掛けていただいたもので、いずれも好事例です。